

皆様 こんにちは

2020-21 年度 歴史ある東京小金井ロータリークラブの第 58 代会長を務めさせていただくことになりました齊藤です。

身の引き締まる思いです。

思い起こせば 23 歳の時、東京小金井ローターアクトクラブに入会してから 40 年が経ちました。

約 10 年弱活動を致しましたが、その当時のロータリアンの方々やローターアクトの仲間に大変大きな影響を受け、今の自分の人生があるものと考えています。

さて、今年度の国際ロータリーのボルガー・クナーク会長は「ロータリーは機会の扉を開く」を R I 会長テーマとされました。

これは、単に数ではなく価値観を共に出来る会員をどれだけ増やせるか、IT による社会の革命的变化に柔軟に対応していくこと、どんな相手に対しても常にフラットな心で対応することが重要だとおっしゃられています。

因みに、今年度のマークは、ロータリーカラーのロータリーロイヤルブルーとロータリーゴールド、そしてローターアクトクラブカラーのクランベリーの三色で構成されているとのことでした。

また、今年度の第 2750 地区の福原有一ガバナーは「バリアフリーマインド」をガバナーテーマとされました。

ご自身で行われている児童相談所における奉仕活動を通じて感じたテーマだそうです。ガバナーは

「ロータリーで奉仕を行うのは私たち自身です。その方法は地域や歴史に根ざしたものもあり様々です。ただ、望むらくはそのときの私たちの心は、奉仕される相手と同じ視線に立つという構えであってほしい。」とおっしゃられています。

私は、お二人のテーマの根底にあるのは「四つのテスト」なのではないかと思っています。

真実かどうか。みんなに公平か。好意と友情を深めるか。みんなのためになるか。絶えず謙虚に自分自身に問い、相手を思いやり、尊敬の気持ちを持つことが大切だと言われているのだと思います。

国際ロータリーが、そして世界が大きく変化をする中、私たちのクラブはどのような方向を目指すのか、一緒に勉強し、話し合い、共有できる価値観を見い出すことが出来ればと考えております。

新型コロナウイルスの影響により仕事や普段の生活、ロータリークラブを含む様々な活動も根底から

私たちのクラブは2年後に創立60周年を迎えます。

多くの諸先輩が様々な想いと膨大なエネルギーを込めて繋いでこられた伝統ある襷をきちんと次年度に繋げるべく、一年間精一杯頑張っておりますので、  
会員の皆様のご指導とご協力を宜しくお願い致します。